

室戸ジオパークだより Vol.63



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



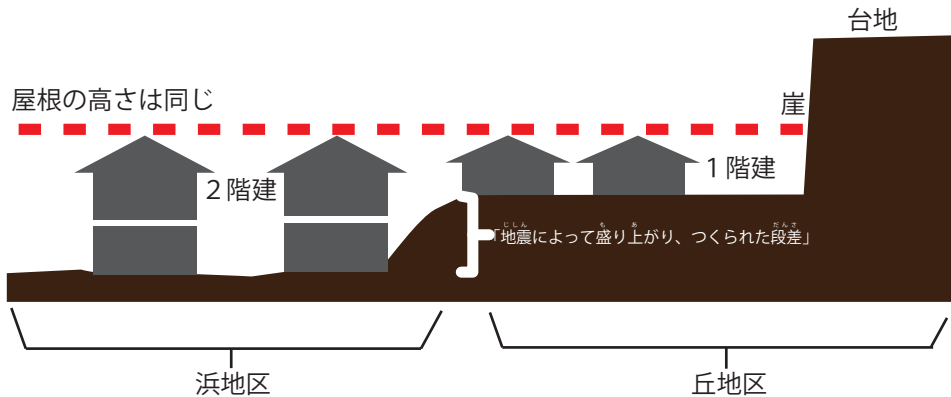
Muroto
UNESCO
Global Geopark

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、室戸市内外でイベントの中止や延期、観光施設等の臨時休館が相次ぎました。早く状況が改善して、多くの人でにぎわう春の室戸を迎えられるようになればいいなあ…。

吉良川の町家 雛まつりで何を見る？

いろんなイベントが延期/中止になる中、2月29日から3月3日までの期間「吉良川の町家 雛まつり」が一部イベントの中止はありましたが、予定通り開催されました。今年で22回目になる吉良川の雛祭りでは、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている通りを中心に、町並みの家々が解放されお雛様が飾られました。お雛様だけでなく、地元の農産物を使用したお惣菜や手作りのお菓子も販売されました。どんな雛人形が飾られているか、どんな美味しいものがあるかという興味から、みなさん自然と吉良川の町並みをぐるっと散策されていました。

国道から一本山側を通る旧通りが、いわば町並みのメインストリートですが、そこからさらに御田八幡宮の通りまで進むと、お宮に向かって急な坂になっています()。町並み保存地区は、大きく分けて旧国道沿いの「浜地区」と、御田八幡宮の高さのエリアは「丘地区」と区分することができ、そこに建つ家には、それぞれ違った特徴があります。「浜地区」の家は、真っ白な土佐漆喰の壁と、そこにまるで突き刺さっているような水切り瓦が。さらに「つし二階」と呼ばれる二階建ての町家も特徴です。坂をのぼって「丘地区」にたどり着くと、軒を低く抑えた平屋建に丸い石(砂岩)で作られた「いしぐろ」と呼ばれる石塀を屋敷周囲に巡らせた民家が多くなります。高低差を考慮して「浜地区」と「丘地区」の屋根の高さがなるだけ揃うような町の造りになっているんです。



土佐漆喰の壁、水切り瓦、つし二階、いしぐろ、屋根の高さを揃える、という吉良川の町並みの特徴は、この気候と関係があります。台風がよく襲来する室戸では、強い雨風からいかにして家と集落を守るか、ということが昔からの課題でした。1つ1つの家屋には「なぜこういう様式でこの場所にあるのか」という理由があります。軒先に土佐備長炭の風鈴がぶら下がっている家もありますが、それも地元の産業の影響です。

吉良川はひなまつり以外にも多くのお祭りがあります。つつい出店や見世物に目を奪われてしまいますが、町並みをてくてく歩いてみると、その町の暮らしと住居の変遷に触れることができます。みなさんの住む町にもこうした物語が潜んでいるかもしれません。



町屋を利用して、小物雑貨や手作りお菓子を販売



炭玄が夜の御田八幡宮を竹灯りでライトアップ

室戸高校で避難所運営訓練が実施されました

3月10日（火）、室戸高校で避難所運営訓練が実施されました。室戸高校は市に指定された地震津波発生時の避難所です。この日は高校の中でも一番に避難者を受け入れる予定の体育館で、避難所設営のための訓練を、室戸市職員及び室戸高校教職員で学びました。

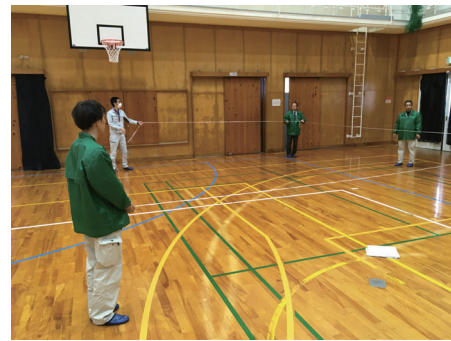
室戸高校には生徒らで構成される防災委員会もあり、生徒らは高校作成の避難所運営マニュアルの見直しのために、調査活動をはじめました。そのきっかけになったのは、昨年夏の宮城県多賀城市への訪問でした。そこで、東日本大震災時には想定を超えた津波被害があったことを生徒らは学んでいます。その教訓を室戸に持ち帰り、「想定される被害」について、自分たちの住んでいる町の成り立ちや高校の設備について調べることで再検証しています。「自分が住む町のつくりを知る」ことは、ジオパークが目指す持続可能なまちづくりのためにも大切な観点で、一緒に活動を進めています。生徒らの調査結果が室戸高校の避難所運営マニュアルに反映される可能性もあります。防災/減災の取り組みを複数の視点で見直すことって、大切ですね。



簡易トイレキットを使った、設置方法の確認。50人に1つの設置が理想。



着替えや授乳等、プライベート空間が必要な場合のキット。とてもしっかりしています。



避難所の区画割りには早急に行うべきもの。その簡易的な方法がシェアされました。

みなさん WAON カード、使ってますか？

室戸世界ジオパークセンターで絶賛発売中の室戸ジオパーク WAON カード。全国のイオングループ、マルナカ、一部コンビニなどで使用できるプリペイドカードです。室戸岬の画像が使用されている WAON カードは、全国のどこで使用してもその購入金額の 0.1% が室戸ジオパーク推進協議会の活動資金として寄付されます。多くのみなさんに使用していただいております。毎年イオンモール高知などで寄付金贈呈式や室戸ジオパークイベントなどを開催しています。今年も2月15日に贈呈式を行い、国立室戸青少年自然の家と JAMSTEC と共同ワークショップを実施しました。ご来場いただいたみなさん、ありがとうございました。



室戸ジオパーク次期実行計画策定会第3回を開催します

2019年11月、2020年2月にそれぞれ開催してきた、室戸ジオパーク次期実行計画の策定会ですが、ついに決定版の第3回を実施します。これまでの4年間を振り返りながら、2020年から2023年までのこれからの4年間で、室戸ジオパークで何をしていくかの内容を決めるかを話し合います。どなたでも事前連絡等なしでおいでいただいてもかまいません。お待ちしております！

【開催日時】2020年4月23日（木）18:30～20:00

【場所】室戸市保健福祉センターやすらぎ きらきらひろば

【お問い合わせ】0887-22-5161



「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ!」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会 (0887-22-5161)

Email: info@muroto-geo.jp

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 室戸世界ジオパークセンター（担当：小笠原）

